

MBA式英語学習虎の巻

～最短/効率的に英語が喋れる為の勉強法～



【目次】

はじめに(前提)

英語が伸びる人/伸びない人

英語を学ぶために必要な時間

インプットの重要性

MBA式レベル別学習マップ

学習内容別勉強方法

- － 英単語
- － 英文法
- － 短文暗唱(瞬間英作文)
- － 音読
- － リーディング



ユナイテッドリグロース株式会社

はじめに(前提)



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

2012年にセブ島にてMBAセブ校を開校して1,500人以上の社会人の英語学習に携わってきました。この「英語学習虎の巻」は、そのような学習者の事例を元にして当校独自に考案した学習メソッドとなり、以下を前提としています。

学習および学習者の前提

- ① 中学校、高校の授業で最低限の英語を習った学習者が対象（得意/不得意は問いません）。
- ② 日常生活や仕事で使える英語力を最短距離で学びたい方に向けた勉強法となります。TOEIC等のテスト点数向上のみを目指している方には不向きです。
- ③ 主に実践的な「スピーキング力の向上」に重点を置いています。
- ④ 授業とは別で毎日1-2時間の自習時間（スキマ時間でもOK）で自己学習を行っていただきます。

英語が伸びる人/伸びない人の特徴



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

英語勉強を本格的にスタートする前に、「英語が伸びる人」になるための事前準備から始めましょう。

英語が伸びる人

固い決心(動機)がある

学習のゴール設定が明確である

考え方が柔軟/オープンマインドである

とにかく自信(度胸)を持っている

英語が伸びない人

なんとなく英語勉強している

学習のゴールが不明確である

考え方が固執/批判的である

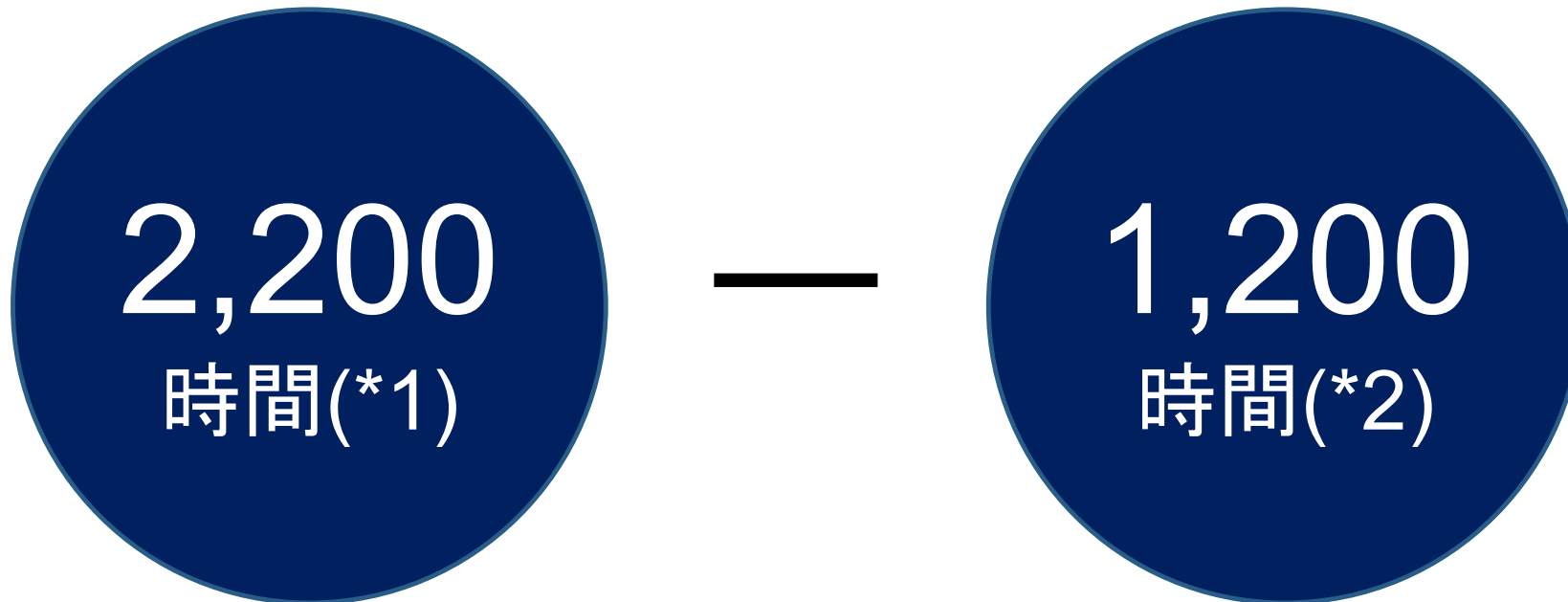
英語に対して自信がない
(積極的に喋らない)

英語を学ぶために必要な時間



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

ずばり、初心者が英語が喋れるようには「**1,000時間**」の学習時間を確保してください。



(*1)英語ネイティブスピーカーが日本語を習得するのに必要な時間（≒日本人が英語を習得するのに必要な時間）

出所：アメリカ国務省

(*2) 日本人が中高大で英語を勉強するおおよその時間

インプットの時間確保を



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

語学留学や日本での英会話スクールはあくまでアウトプットの間。それだけでは英語が喋れるようにはなりません。英語力の向上を図るには、効果的な自己学習(インプット)と授業(アウトプット)をセットで学習する必要があります。

効果的な自己学習
(インプット)

+

授業
(アウトプット)



英語
力

MBA式レベル別学習マップ



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

各自の英語レベル別で授業外に行う自己学習方法については以下をご参照ください。
次ページ以降に各勉強科目別の取り組み方法を具体的に記載しておりますので参考にして
ください。

初心者なら12週間（3か月）で日常会話レベルへ

初心者からビジネスレベルまで1,000時間

CEFR	▼日常会話レベル				▼ビジネスレベル	
	A1	A2	B1	B2	C1	C2
TOEIC	~200	200~350	350~550	550~750	750~900	900~
IELTS	~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0	5.0~7.0	7.0~8.0	8.0~
A1からの学習時間(h)	-	300時間	650時間	1000時間	1400時間	1800時間
A1からの標準期間(日本)	-	180日	360日	540日	760日	1,000日
A1からの標準期間(セブ)	-	6週間	12週間	18週間	26週間	34週間

英語力向上	=	授業(日本 or セブ)	+	自主学習(1~2h/day)	
		インプット重視		アウトプット重視	
英単語		1,500語	3,000語	5,000語	8,000語
英文法		中学レベル文法(参考書+ドリル)		高校レベル文法(参考書+ドリル)	
短文暗唱 (瞬間英作文)		ステージ①(構文別)		ステージ②(シャッフル)	
音読 (リスニング+スピーキング)		音読パッケージ①(中学レベル)		音読パッケージ②(高校レベル)	
				映画/洋画ドラマリスニング	CNN/BCC
リーディング			精読①	精読②	多読①
ライティング			短文日記		プレゼンテーション(原稿作成)

①英単語(英熟語も一部含む)



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

学習対象者

(CEFR)A1~B1 (TOEIC)550点以下 (IELTS)5.0以下

学習方針

- ・基本会話で頻繁に使われる英単語を覚える事に注力し、第一目標を1,500語、第二目標を3,000語として学習を進めてください。
- ・難しい/利用頻度の低い単語は余力ある方のみ学習してください。

学習方法

発音CD付の英単語学習書(アプリもOK)で暗記してください。覚える際には必ず発音と一緒に覚える事をお勧めします。

お勧め教材 (一部のみ紹介)



長文が読めるようになる
中学英単語必修1200
(第一目標用)



つながる英単語
3000語
(第二目標用)



TOEICテスト出る語句
1800+
(第二目標+TOEIC用)

②英文法



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

学習対象者

(CEFR)A1～B1 (TOEIC)550点以下 (IELTS)5.0以下

学習方針

- ・中学レベルの英文法を総復習してください。分厚い参考書は必要ありませんので、復習用に作られた薄い参考書を完璧になるまで仕上げましょう。
- ・余力のある方は高校レベルまで取り組んでください。

学習方法

中学・高校の復習用参考書で一通り復習したのちに、受験用のドリルを使って練習問題を解いてください。

お勧め教材 (一部のみ紹介)



中学英語をもう一度
ひとつひとつ
わかりやすく。



英文法のトリセツ
中学レベル完結編



一億人の英文法
(じっくり復習したい方)

③短文暗唱(瞬間英作文)



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

学習対象者

(CEFR)A1~C1 (TOEIC)900点以下 (IELTS)8.0以下

学習方針

・英文を即座に作るための瞬間英作文回路を作るためのトレーニングです。まずは構文別からスタートし、最後はシャッフルまで完璧に出来る様になるまで続けてください。

学習方法

各セクション全文の英訳が直ぐに出来るレベルになるまで何度も繰り返してください。テキスト全体を通してスムーズに英訳が出来るようになった時点で次のテキストへ移りましょう。

お勧め教材 (一部のみ紹介)



どんだん話すための
瞬間英作文トレーニング
(第1ステージ)



スラスラ話すための
瞬間英作文トレーニングシャッフル
(第2ステージ)

④音読



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

学習対象者

(CEFR)全レベル

学習方針

・音読は英語知識をアウトプットに変える為の地味な繰り返しのトレーニングですが、**最も英語力向上に寄与する**トレーニングですので、時間を掛けて毎日取り組んで下さい。

学習方法

・音読のポイントはとにかく繰り返し続けて体に覚えさせる点にあります。
①CDで文章を聞く×3回 ②音読×10回 ④シャドーイング×5回
上記①→④のセットを最低10回繰り返して下さい。
・単に音読するだけでなく、状況をイメージしながら取り組むとより効果的です。

お勧め教材 (一部のみ紹介)



英会話・ぜったい音読
入門編



ぐんぐん音読パッケージ
中級レベル



「ローマの休日」を
観るだけで英語の基本が身につく
DVDブック

⑤リーディング



社会人からの
オトナ留学
Master of Business
English Academy

学習対象者

(CEFR)B1～C2

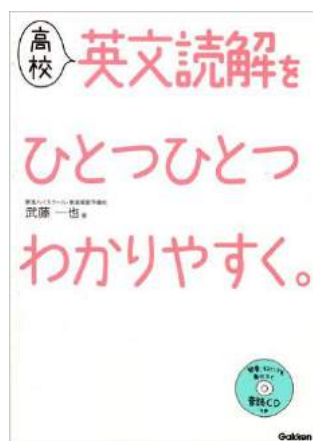
学習方針

・スピーキング力を重視する上では優先度は低くて構いませんが、上級者に近づくためには必須スキルとなります。中級レベル以上(B2～)の方は積極的に取り組む事でワンランク上の英語力を身に付けることができます。

学習方法

・文章を一つ一つ品詞分解(S,V,O,C)し、正確な意味を理解する「精読」からスタートしてください。その後多くの生きた英文を多く読む「多読」へと移って下さい。この時精読程の正確さは必要ありませんが6割以上は正確に理解するように心がけてください。

お勧め教材 (一部のみ紹介)



高校英文読解を
ひとつひとつ
わかりやすく。

●以下のようなウェブサイトの記事(多読用)

▼Newsweek

<http://www.newsweek.com/>

▼Japan Real Time

<http://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

▼Japan Times

<http://www.japantimes.co.jp/>